建設環境工学科 平成29年度

建設	建設環境工学科 平成2							
科目名	測 量 学 I Surveying I			担当教員	今岡 芳子			
学 年	1年	学期	 後期	履修条件	必修	単位数	1	
分 野	専門	授業形式	講義			単位区分		
学習目標	本科目では、測量	量の基本的な:	知識を学ぶととも	に, 測量学	に用いる数学を	身に付け,		
	準測量、角測量の基本原理、測定精度、誤差の種類と調整方法を理解する。 教科書に即した講義、演習を基本とするが、測量士補試験への対応を目指した演習を適宜行う。講							
進め方	義内容の理解確認を兼ね、問題演習、レポート課題を課す。また、測量の基本原理を実感してもら うために、測量器具や小型模型を用いた説明を行う予定である。							
		行う予定で						
学習内容	学習項目(時間数)				学習到達目標			
	1. 基本的事項(5)				・区域の大小、順序、方法、目的および法律によ			
	(1) ガイダンス (A) 別見の ハギ トサロ				る分類を説明でき、量体系(国家基準点等)を説し			
	(2) 測量の分類, 法規				明できる。			
	(3) 測量のための基礎数学 1				・測量における誤差の種類を説明でき、これを考慮しまる。			
	(4)測量における誤差の種類				慮した計算ができる。			
	2. 距離測量(4)				・距離の種類を説明できる。			
	(1) 距離の定義と距離測量の分類				・巻尺による測量で生じる誤差を説明でき、測量			
	(2) 距離測量の方法				結果から計算できる。			
	(3)距離測量で生じる誤差の取扱い方				・光波・電波による距離測量を理解している。			
	(4) 距離測量での測定精度				・距離測量における測定精度について理解してい			
	4. 基本的事項(1)			_	る。 ・有効数字、数値の丸め方を説明でき、これを考慮した計算ができる。 ・昇降式や器高式による直接水準測量を説明できる。			
	(1)測量のための基礎数学 2							
	5. 水準測量 (5)							
	(1) 水準測量の方法(直接水準測量)							
	(2) 水準測量で生じる誤差				き、測量結果から計算ができる.			
	 [後期中間試験]((B-2)	・水準測量で生じる誤差を理解している。 (B-2)					
	6. 水準測量(3)			• 哭椒()	・器械の点検と調整を理解している.			
	(1) 水準測量での測定精度				・水準測量で生じる誤差の取扱いと調整方法を理解している。 ・角測量で用いる角度について理解している。			
	(2) 水準測量で生じる誤差の調整方法							
	7. 角測量(4)							
	(1)角度の定義				・単測法を説明でき、測量結果を計算できる。			
	(2) 単測法による角測量				・倍角法、方向法を説明でき、測量結果を計算ができる。 ・角測量で生じる誤差の取扱いを理解している。			
	8. 角測量(7)							
	(1) 倍角法による角測量			 角測量 				
	(2) 方向法による角測量							
	(3) 角測量で生じる誤差の取扱い方							
	水平角の最確値と判定方法							
	後期末試験			(B-2)	(B-2)			
	試験返却(1)							
<u></u> .	評価の内訳は,定期試験 80%,課題等 20%として評価する。							
評価方法	各項目 1~2, 3~5, 6~7, 8の重みは、同じ (それぞれ 20%程度) とする。							
	27 ,,, <u>1</u> 7, 140 (Cha Cha Cha Cha Cha Cha Cha Cha Cha Cha							
=								
履修要件	特になし	特になし						
	測量学 I (1 年)	測量学 I (1 年) → 測量学 II (2 年) → 測量学III (5 年)						
関連科目	測量字 I (1 年) → 測量字 II (2 年) → 測量字 III (5 年) 実験実習 I (1 年) 実験実習 II (2 年)							
教 材	教科書:測量,実教出版,ISBN:987-4-407-20199-4							
	参考書:東京法経学院出版編集部(2015):測量士補過去問マスター.東京法経学院出版, ISBN: 978						版, ISBN: 978-	
	4-8089-2434-8							
# *								
備考								